令和６年度前期　医学専攻博士課程　履修届（がん専門医師養成コース）

【新２・３・４年生用】

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 所属分野  （本所属） |  | 指導教授  （本所属） |  |
| 出向先分野  （該当者のみ） |  | 指導教授  （出向先） |  |
| 学生番号 | 3MD | 氏　　名 |  |
| E-Mail |  | | |

レ点、チェックマーク 素材アイコン画像◇選択コース（所属のコースにチェック　　を付けること）

　がん専門医師養成コース（ゲノム基盤先端臨床腫瘍学コース）（以下「ゲノム」と略）

　がん専門医師養成コース（希少がん・放射線治療学コース）（以下「放射」と略）

　がん専門医師養成コース（小児がん・希少がん臨床腫瘍学コース）（以下「小児」と略）

レ点、チェックマーク 素材アイコン画像【1】低年次共通科目（履修する科目にチェック　　を付けること）（全員）

※１科目１単位以上を原則として１年次に履修しなければならない。

　医学研究特論Ⅱ（選択必修）令和６年度開講　　　　　　　　　　　　１単位

レ点、チェックマーク 素材アイコン画像【2】臨床研究専門教育科目（前期分）（履修する科目にチェック　　を付けること）

※２科目２単位以上を原則として１～３年次に履修しなければならない。

　臨床研究の倫理と規制（必修）　　　　　　　　　　　　　　　　　　１単位

　疫学研究（必修）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　１単位

　医薬品・医療機器開発と治験（選択）　　　　　　　　　　　　　　　１単位

レ点、チェックマーク 素材アイコン画像【3】がん専門医師養成科目（前期分）（履修する科目にチェック　　を付けること）

※当該科目は、令和６年度から新カリキュラムとなるため、読み替え表を参照すること

※ゲノムは下記１科目を含む５科目（後期４科目）６単位以上を１～３年次に履修すること

※放射は４科目（後期４科目）４単位以上を１～３年次に履修すること

※小児は下記１科目を含む３科目（後期２科目）３単位以上を１～３年次に履修すること

　がん治療総論（ゲノム・小児：必修，　放射：選択）　　　　　　　　１単位

【4】臨床腫瘍学実習（前期分）１２単位

レ点、チェックマーク 素材アイコン画像※指導教員と相談の上、臨床実習をすることが決定している場合のみチェック　　を付けること

　臨床腫瘍学実習

【全員記入必須項目】＊簡単に１～２行で記入すること。必ず記入すること。

|  |
| --- |
| 研究題目 |
| 作例　：細胞内伝達物質のゲノム解析・糖尿病に関する実験的研究 |

**提出締切：新２・３・４年生　令和６年４月５日（金）**

**提出先：学務課大学院係**

『がん専門医師養成教育科目』読み替え表

がん専門医師養成コースを選択した者は、１～３年次にがん専門医師養成教育科目を履修しなければならない。ただし、令和６年度から、新カリキュラムとなるため、『がん専門医師養成教育科目』の単位を修得していない者は、以下の科目に読み替えて履修・単位修得する必要がある。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 旧がんプロ科目 |  | 新がんプロ科目 |
| 臨床腫瘍学の基本 |  | － |
| がん治療総論 |  | がん治療総論（前） |
| 希少がんを含む各種がんの治療 |  | がん治療各論（後） |
| 希少がんを含む各種がんの  放射線治療 |  | 放射線治療（後） |
| がんゲノム医療 |  | 個別化医療（後） |
| 小児・AYA世代を含むライフ  ステージに応じたがん医療 |  | － |
|  |  | ★がん予防（後） |
|  |  | ★がん病理診断（後） |

※１　★の新設科目を履修する場合には、選択科目として取り扱う。

※２　読み替えのない『臨床腫瘍学の基本』及び『小児・AYA世代を含むライフステージに応じたがん医療』が当該コースの必修科目となっていて、履修を希望する者は、個別に大学院係に相談すること。

※３　『がん治療各論（１単位）』を『希少がんを含む各種がんの治療（２単位）』に読み替えて選択履修する場合、あくまで１単位分としてしか認定できないので、注意すること。